

授業科目名： バレーボール	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名： 渋谷聡・山田美絵子・竹川智樹 担当形態： クラス分け
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 体育実技		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 バレーボールの実技および指導法 【到達目標】 (1) バレーボールに必要な基礎技術（パス、スパイク、サーブ）を、ICTなどを用いて修得する。 (2) バレーボールで「主体的、対話的で深い学び」を修得する。 (3) バレーボールの動きを分解して、つまずきからの手立てを修得する。			
授業の概要 本授業では、バレーボールのパス、スパイク、サーブの基本動作を身に付けさせるとともに、何がうまくできないか、どうすればうまくいくかを、ICTやグループディスカッションを実施することによって、学生個人あるいはグループで「気づく、わかる」ことを促す。合わせて、これらが主体的で対話的な深い学びにつながり、「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなライフスタイルを実現する」ことを理解させる。			
授業計画 第1回：バレーボールの魅力や特性を理解する 第2回：パスの基礎技術（1）オーバーハンドパス技術を身につける 第3回：パスの基礎技術（2）アンダーハンドパス技術を身につける 第4回：パスの基礎技術（3）フォーム改善点の確認(ICTの活用、グループディスカッションの実施) 第5回：スパイクの基礎技術（1）スパイク技術を身につける 第6回：スパイクの基礎技術（2）フォーム改善点の確認(ICT活用、グループディスカッション実施) 第7回：サーブの基礎技術（1）サーブ技術を身につける 第8回：サーブの基礎技術（2）フォーム改善点の確認(ICTの活用、グループディスカッション実施) 第9回：戦術（1）フォーメーションを理解する 第10回：戦術（2）レセプションからの攻撃を身につける 第11回：戦術（3）実戦での三段攻撃を身につける 第12回：実践演習（1）実戦でのコミュニケーション（声かけなど）を身につける (グループディスカッションの実施) 第13回：実践演習（2）実戦でのルールおよび審判法、指導法を身につける 第14回：実践演習（3）チーム別課題練習（ICTの活用、グループディスカッションの実施） 第15回：授業のまとめ			
スクーリングでの学修 ICTを活用してバレーボールの技術向上を図るとともに、指導に必要な学び（主体的、対話的で深い学び）をグループディスカッションなどで実践していく。第1回～第15回の内容を包括的に行う。			
テキスト 蔦宗浩二（2015）「みるみる上達！バレーボール 基礎からマスター」学研出版 978-4058004326			
参考書・参考資料等 ・阿部利彦編（2015）「気になる子の体育つまずき解決BOOK授業で生かせる実践52」学研教育みらい 978-4054062955 参考書・参考資料② ・阿部利彦編（2017）「気になる子も一緒に体育で始める学級づくり ソーシャルスキルのつまずきを学級経営に生かす応援プラン109」学研教育みらい 978-4058008157			
学生に対する評価 スクーリング評価（20%）、科目修得試験（80%）			